

スムーズな教育活動を進めるために「南小学校のきまり」をお知らせします。  
ご理解・ご協力をお願いします。

南小学校

## 南小学校のきまり

### 【通学について】

- ・登校は、遅れないように集合場所に行き、決められた通学班で並んで来ます。
  - \*車での送りは、特別な事情がある場合のみとしてください。その場合は、正門付近で子どもを降ろすようにしてください。
- ・下校は、できるだけ同じ方面の子どもたちと一緒に帰ります。
  - \*どうしても早く帰らないといけない場合は、必ず連絡をしてください。
  - \*用事がない場合の車での迎えは遠慮してください。
- ・遅刻やお休みする場合は、8時15分までに学校へご連絡ください。
- ・登下校は、決められた通学路を通り、それ以外の道は通りません。

### 【服装など】

- ・標準服を着用し、ボタンはきちんと止めます。
  - 〈冬服〉(10月ごろ～5月ごろ)
    - 上着・・・紺　○スカート・半ズボン・・・紺
    - 長袖のポロシャツ・カッターシャツ・ブラウス・・・白
    - \*長ズボンは、体調や気候をみて調整してください。長ズボンは派手でないものにしてください。
    - \*冬の標準服の下に着る服は、派手でなくフードのついていないものにしてください。
    - \*冬期にジャンパー等防寒着の着用はできますが、派手でないものにしてください。
  - 〈夏服〉(5月ごろ～10月ごろ)
    - 半袖のポロシャツ・カッターシャツ・ブラウス・・・白
    - スカート・半ズボン・・・紺
- ・名札、帽子は毎日忘れないように着用します。
- ・靴は、運動に適した形のものをはきます。
  - \*足首が隠れるもの(ハイカット)は望ましくありません。
- ・靴下の色に指定はありません。
  - \*寒い時期には、タイツをはいてもOKです。
- ・学校指定の体操服で体育をします。
  - 上・・・半袖の白シャツ　指定の体操服(冬季)
  - 下・・・紺のハーフパンツ　指定の長ズボン(冬季)
  - 赤白帽
  - \*冬季は長袖トレーニングシャツを着たり重ねたりしてもOKです。
- ・髪型に気を付け、髪を染めたり、パーマ、ピアス、マニキュアをしたりしません。

## 【持ち物】

### 学校に必要なものは持ってきません。

(メモ帳、カラーペン、交換日記、雑誌、ガムや飴などの食べ物、携帯電話など)

\*忘れ物をしても、原則、電話をして持ってきてもらうことはしません。

(忘れ物をしないように考えて、準備を心がけましょう)

\*携帯電話はトラブルの原因になることがありますので、小学校では持たせません。やむをえない場合は必ず申請書に署名して学校に提出してください。学校にいる間は学校で預かります。

下校時に返却しますが、指定の場所(職員室)で電話をかけるようにします。家庭への連絡が必要な場合は、職員が学校から連絡します。

\*持ち物には全て名前を書いてください。

\*筆記用具は筆圧のことを考えて鉛筆を使用させてください。(濃さについては担任が指定します。)シャープペンシルは使用しません。

\*丸つけ用に、1~4年生は赤鉛筆、5~6年生は赤ボールペンを使ってもいいです。

\*水分補給のために水筒を持たせてください。時期の指定はありません。

(ペットボトルを持たせる場合は、名前を書いた入れ物に入れて持たせてください。)

\*通学かばんは、ランドセルを基本としています。壊れたり体に合わなくなったりした場合は、背負う形のかばんにしてください。手持ちかばんのみは、認めていません。

## 【校外でのくらし】

・自転車に乗ってよい範囲は安全面を考え、各家庭でよく話し合ってください。

\*安全な自転車の乗り方に心がけ、けがの防止のためヘルメットを着用させてください。

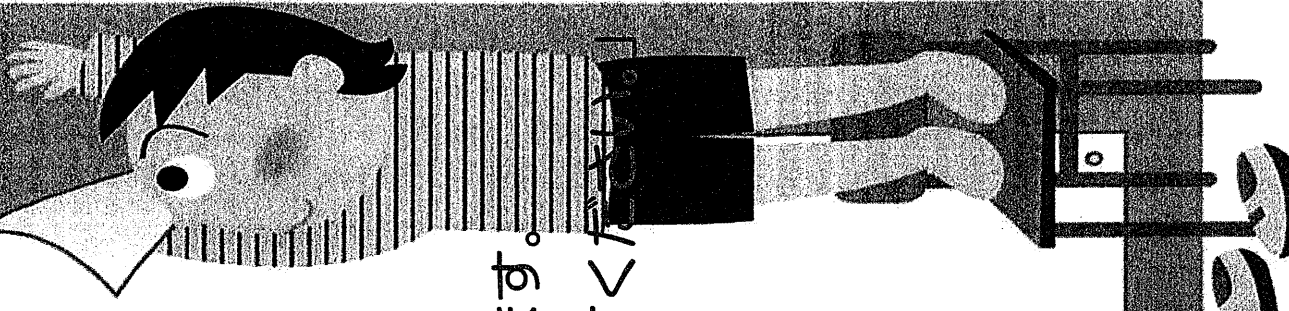
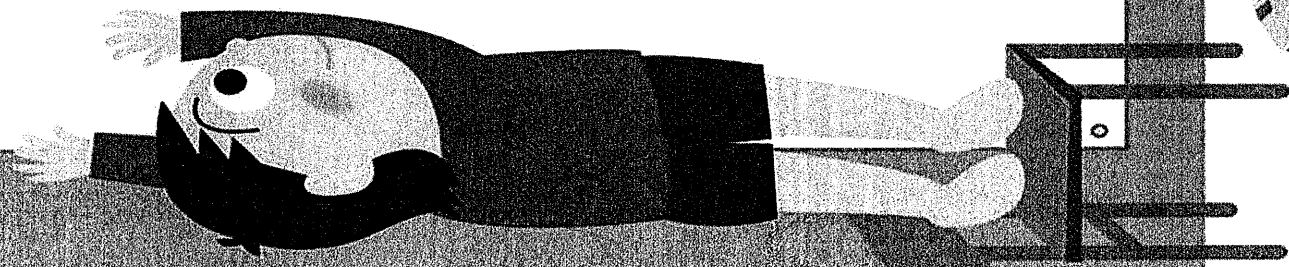
・子どもたちだけで学区外に出たり、大型店(アルネ、イオン、ゆめマート)や商店街に行ったりしてはいけません。

・金銭やゲーム、カードなど、物の貸し借りはしません。

・通信機能のあるゲームやスマホなどを使う時、SNSの使い方などの危険性、ルール、マナーなどを家庭で十分話し合い、ルールづくりをお願いします。

・児童館などの公共施設を利用する場合は、必ずきまりを守り、他の人の迷惑にならないようにします。学校近隣の施設での菓子袋などゴミのポイ捨てが気になります。ご家庭で十分ご指導ください。

# 南の子 10の約束



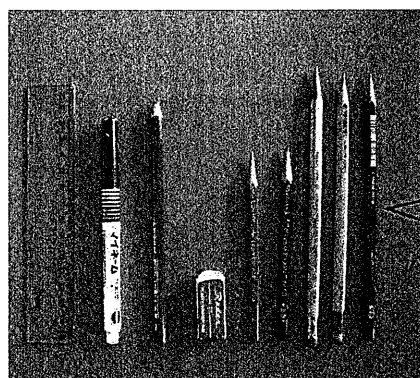
1. 決められた服装で登校します。  
き ぶくそう とうこう
2. 自分から進んであいさつをします。  
じぶん すず へんじ
3. 名前を呼ばれたら「はい」と返事をします。  
なまえ よ へんじ
4. 「さん」「くん」「ちゃん」「ちゃん」をつけて名前をよびます。  
なまえ
5. 最後まできちんと話します。「～です。」「～してくださいます。」  
さいご はな
6. チャイムで、勉強や掃除を始めます。  
ばんきょう そうじ はじ
7. よい姿勢で話を聞きます。  
しせい はなし き
8. ろうかは、静かに歩きます。  
しず ある
9. 好ききらいなく給食を食べます。  
す きゅうしよく たべ
10. 持ち物には名前を書き、整理整とんをします。  
も もの なまえ か せいりせい

# 学習用具の確認

## (1) 筆箱の中身

- 書き方鉛筆5本 1・2年 B・2B・4B・6B(1本)  
(毎日削ってくる) 3・4年 B・HB ※上に飾りのないもの  
5・6年 B・HB ※シャーペンは不可
- 消しゴム(においや形重視ではなく、よく消えるもの)1個
- 赤鉛筆(高学年は赤ボールペン可)1本
- ネームペン(黒細マジック)1本
- ものさし(2つ折りでないもの・華美でないもの)1本

\*この他に、授業で必要な物は、担任の先生から連絡があります。



鉛筆けずりは持ってきません。  
筆箱についている場合は、取り外して家庭でお使いください。

- ※ラインペンは担任の指示があったときのみ、用意してください。
- ※学校で使用するものさしは、1年生で統一して購入しています。
- ※全てに記名してください。

## (2) 7つ道具(学習用具のセットです。各学年で必要な物を随時購入し、学校で保管しておきます。)

- 三角定規セット
- 分度器(三角定規セットに含まれている)
- ものさし
- コンパス
- のり
- はさみ
- 色鉛筆(クーピー)

※学校の学習で使うものですから、学校保管とします。もしご家庭に持ち帰っている場合は、早めに学校まで持たせてください。また、宿題等で使用する分度器・コンパス等は、各ご家庭で購入し、ご家庭で使えるようお願いします。

# 家庭学習のすすめ



自分から進んで学ぶ子どもを育てましょう

津山市立南小学校

南小学校では、家庭学習の習慣の定着を目指しています。

学校の授業と家庭学習は、学ぶ力を伸ばす「車の両輪」です。学校で学習したことをしっかりと理解するためにも、自ら学ぶ習慣を身につけていくためにも、家庭学習はとても大切です。小学校のうちに家庭学習の習慣を定着させ、中学校でもやる気をぐんぐん伸ばし、進んで学習できる子どもに育てましょう。

【家庭学習 目標時間】（宿題・自主学习・読書をふくむ）

●1・2年生 30分

●3・4年生 40分

●5・6年生 60分

## 家庭学習にはこんな良いことが・・・

### ① 学習内容が定着します

習ったことをすぐに復習すると、習った内容が確実に定着します。どの学習も繰り返し学習することで、「できる」・「わかる」ようになります。

### ② やる気がどんどん出てきます

「できる」・「わかる」ことは、次の「やってみよう」というやる気につながります。例えば、漢字が書けるようになったり、計算がすらすらできるようになったりすると、その自信が他の学習への意欲につながります。

### ③ 家族のふれあいが増えます

忙しい毎日の中でも、家族の方が家庭学習を少しでも見ることで、子どもの良いところが見えてきます。すると、当然ほめることが増えます。子どもはほめられることで、次のやる気を出します。この良い循環で、家族のふれあいも増え、家庭が温かい空気に包まれます。

## 家庭学習のポイント

### ① 学習する時間と場所を決めましょう

時間と場所をはっきり決めましょう。子どもと家族が話し合っ  
て決め、決まった部屋や場所・時間を  
守らせましょう。

### ② 環境を整えて、集中して学習しましょう

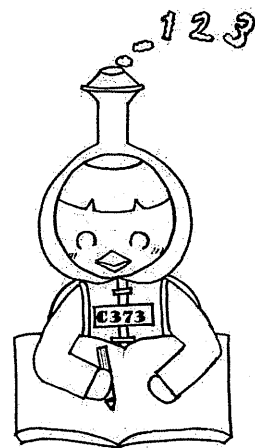
学習時間は大事ですが、それ以上に大事なことは「集中する」とい  
うことです。テレビはもちろ  
ん、音楽も止めましょう。机のまわりには、マンガやゲームなどの  
気が散るものは置かず、学習  
だけに集中できる環境を作りま  
しょう。集中力はあらゆる力の源です。

### ③ がんばりを見つけてほめましょう

家庭学習の習慣が身につくまでには、時間がかかります。進んで  
できない日もあるでしょう。大  
人は、ついできないことを注意してしま  
います。しかし、そこは、ぐっと我慢して、頑  
張ったことを見逃さずほめま  
しょう。

## 自主学習

学校が出す宿題だけではなく、主体的に「自主学習」に  
取り組むことが大切です。自主学習では自分で中身を決め、  
自分の得意なものや苦手なものに挑戦する必要があります。  
最初は戸惑いますが、やり方を学校で学んだり、友だちの  
自主学習ノートを参考にしたりすると、少しずつ慣れてい  
きます。繰り返すことで自主学習をすることが当たり前にな  
り、楽しくできるようにもなります。「継続は力なり」です。  
自主学習が身につくまで、ご家族のサポートをお願いします。



- ① 始めに、めあて（復習・確認・テストに備えて など）を書くと目的がはっきりします。
- ② 終わりに、まとめ（身に付いたこと など）を書くと、取り組んだ成果が実感できます。